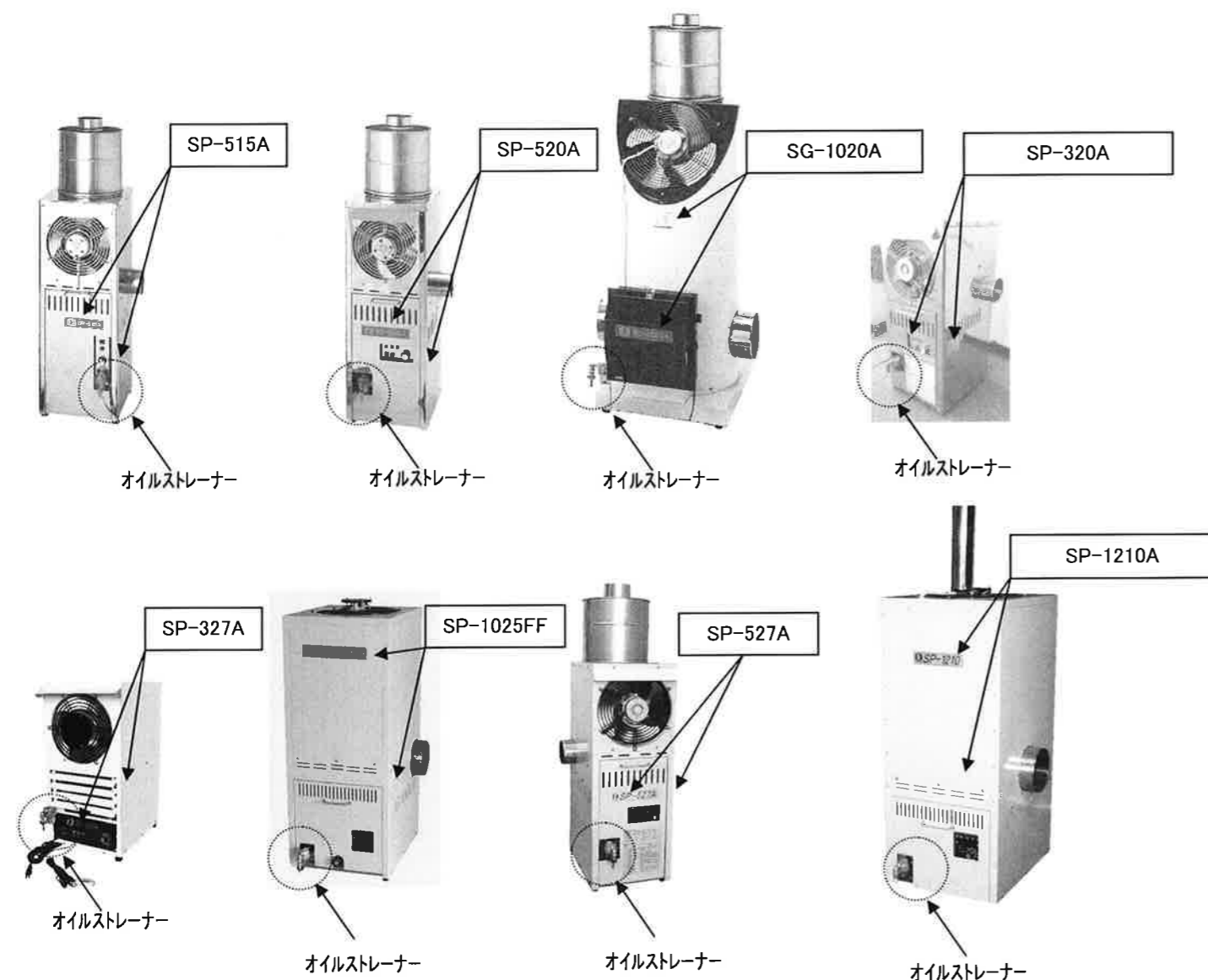


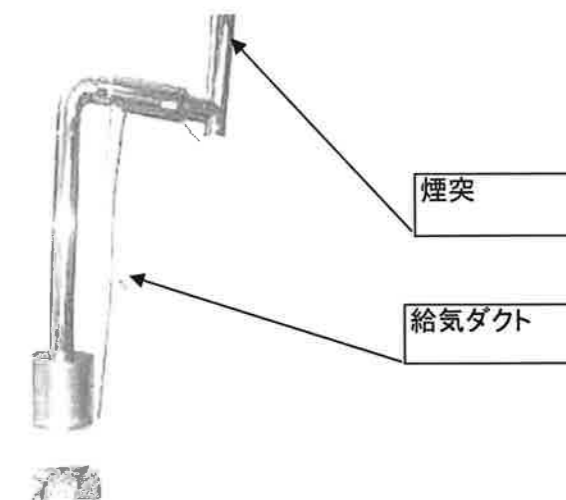
下記の手順にて、復帰操作を行なってください。
 下記内容をご確認いただき、復帰しなければ出張修理などの処理が必要です。
 お電話での下記内容をご案内することはできません。
 予めご了承くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

手順 1 現在ご使用されている機種の確認をお願いします。
 ステッカと定格銘版をご確認ください。



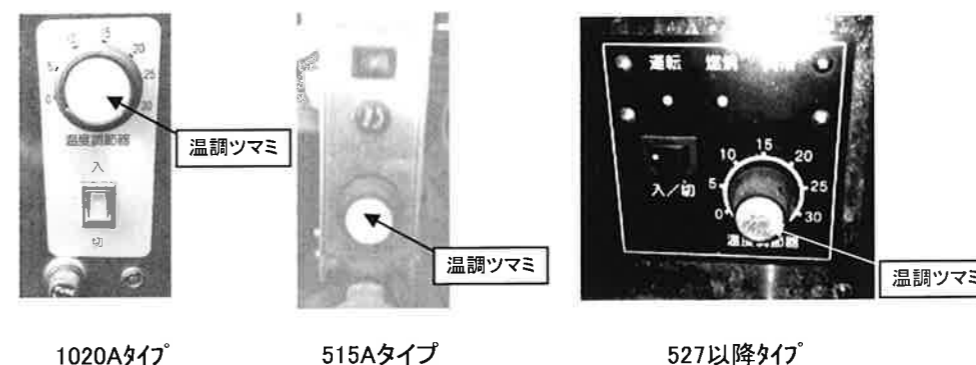
6.給気・排気の確認

給気ダクトもしくは煙突内に、異物が入っていると燃焼用の空気が行かなくなります。
 ダクトを一度外してご確認ください。



7.温度調節ツマミの確認

温度調節ツマミが室温より2.5度高いときは、スイッチを入れても運転を開始しません。
 ツマミを温度の低い方へ動かし運転を開始するかご確認ください。



手順 3 全く動かないときの対処方法

1.コンセントにストーブのプラグが入っているか、もしくはコンセントに電気が来ているか

コンセントにストーブの電源コードのプラグが入っていない時が見受けられます。
 また、元のブレーカーが落ち電気が来ない時もあります。ご確認ください。

2.温度調節ツマミの確認

温度調節ツマミが室温より2.5度高いときは、スイッチを入れても運転を開始しません。
 ツマミを温度の低い方へ動かし運転を開始するかご確認ください。

3.運転スイッチの確認

弊社ストーブの運転スイッチは、左もしくは上にスイッチを倒すと運転を開始します。

出張修理

以上の出張修理を行い復帰しない場合は、出張修理などの対処が必要となります。

弊社へご連絡の上、『基本復帰操作を行なったが復帰しない』や
 『基本復帰操作を行なうことが難しい』とお伝えいただければ出張修理などの対応を致します。

総和工業株式会社 TEL:048-875-7011

手順 2 未着火時の基本復帰操作方法

1. オイルタンクの水抜き



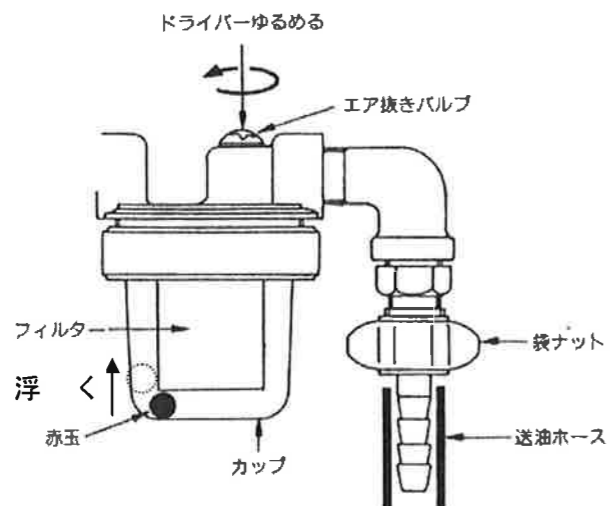
2. オイルタンクコックの開閉確認

タイプに応じてコックを開けてください。



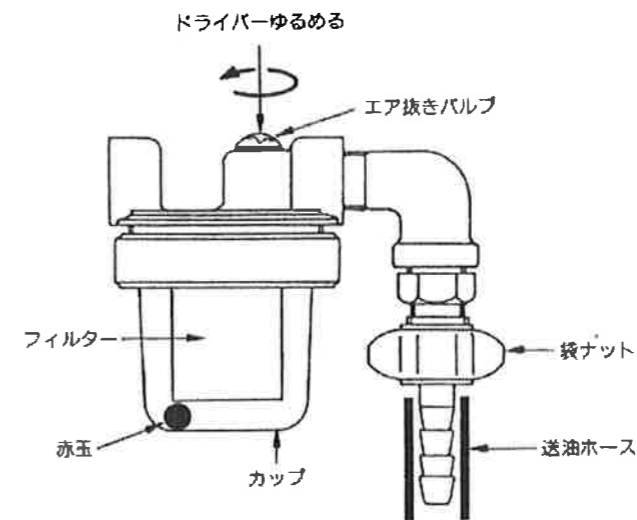
3. 送油経路に水が入っているか確認

各機種のオイルトレーナーの位置を 手順1の機種別写真にてご確認ください。
オイルトレーナーの赤玉が浮いていると水が入った可能性があります。
この場合、水抜き処置を行なう必要がありますので、修理をご依頼いただく必要があると思われ
ます。



4. 油がながれているかの確認

オイルトレーナーのエア抜きバルブのネジを緩めて油が出てくるのを確認してください。
1)2)の手順を行なって油が来ない場合は、ホース内に空気か水が入っていると思われます。
水野場合は、修理が必要と思われますが、空気の場合は、ホースを揺らすことで緩めたねじの
隙間から油と共に空気が出てきます。十分に油が出るまで行なってください。(目安500mmリットル)



5. リセットボタンの確認

ストーブが大きく傾いたり、震動を受けるとリセットが必要になります。
各タイプに応じた方法でリセットしてください。

下げる



SP-515Aタイプ
リセットレバーを下へ「カチッ」と鳴るまで
下げてください。(ほんの少し下がります)

押す



その他 タイプ
赤いボタンを1回
押してください。